

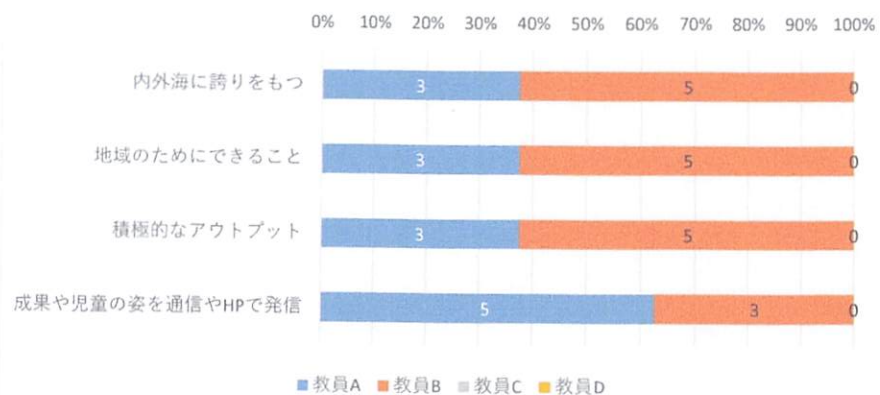
令和4年度

学校評価書

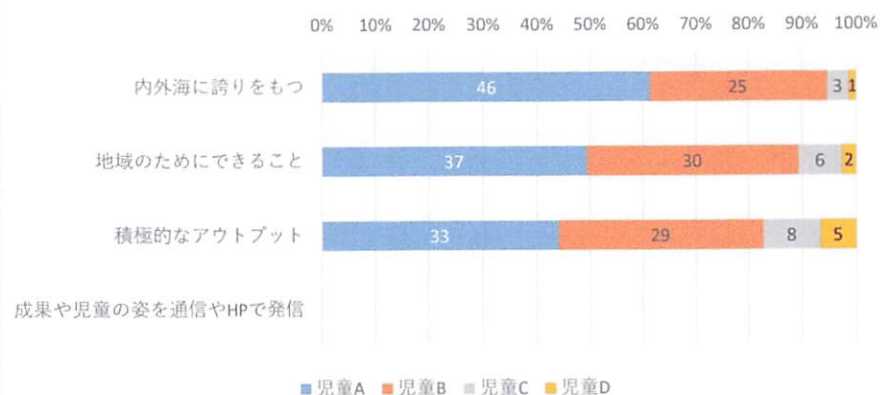
小浜市立内外海小学校

地域を愛し、地域に愛される子	教員				児童				保護者			
	A	B	C	D	A	B	C	D	者A	者B	者C	者D
内外海に誇りをもつ	3	5	0	0	46	25	3	1	29	41	9	0
地域のためにできること	3	5	0	0	37	30	6	2	17	41	21	0
積極的なアウトプット	3	5	0	0	33	29	8	5				
成果や児童の姿を通信やHPで発信	5	3	0	0					44	34	1	0

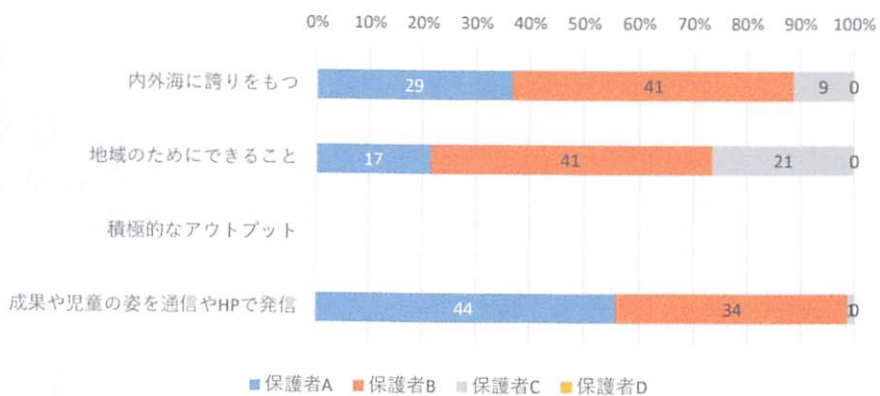
地域を愛し、地域に愛される子（教員）



地域を愛し、地域に愛される子（児童）



地域を愛し、地域に愛される子（保護者）



【成果】

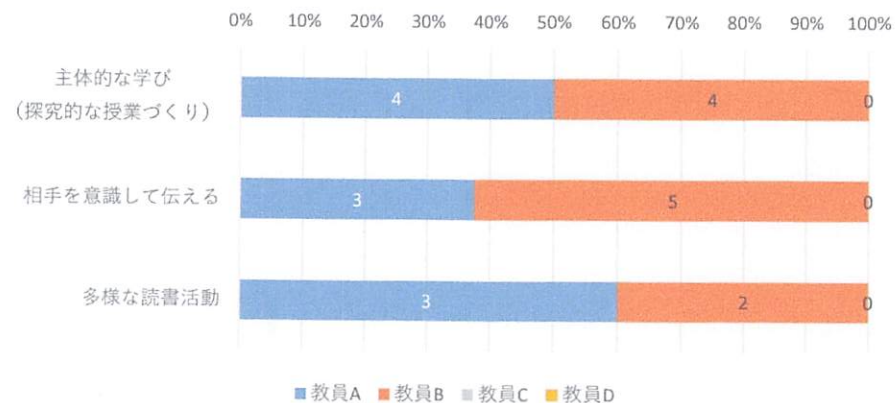
- ・ふるさとを題材とした探究的な学習により、ふるさとに誇りをもち、ふるさとを愛する心がはぐくまれている。
- ・児童の学びの姿や成果を、通信やHPで積極的に発信し、保護者にも伝わっている。

【課題】

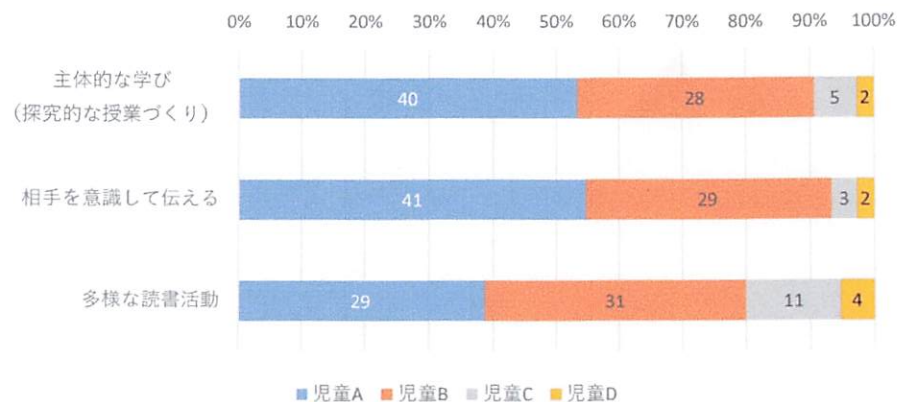
- ・地域のために自分ができていることを考えたり、学んだことを積極的にアウトプットする場を多く設定していく必要がある。

志をもって主体的に 学び続ける子	教員	教員	教員	教員	児童	児童	児童	児童	保護	保護	保護	保護
	A	B	C	D	A	B	C	D	者A	者B	者C	者D
主体的な学び (探究的な授業づくり)	4	4	0	0	40	28	5	2				
相手を意識して伝える	3	5	0	0	41	29	3	2				
多様な読書活動	3	2	0	0	29	31	11	4	39	36	4	0

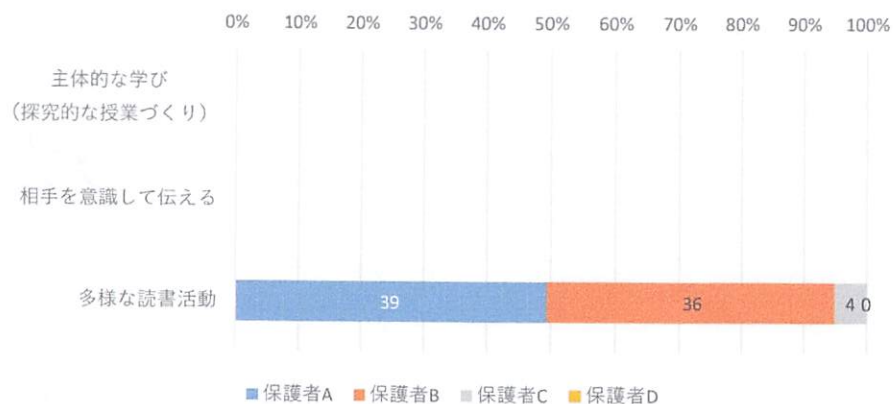
志をもって主体的に学び続ける子（教員）



志をもって主体的に学び続ける子（児童）



志をもって主体的に学び続ける子（保護者）



【成果】

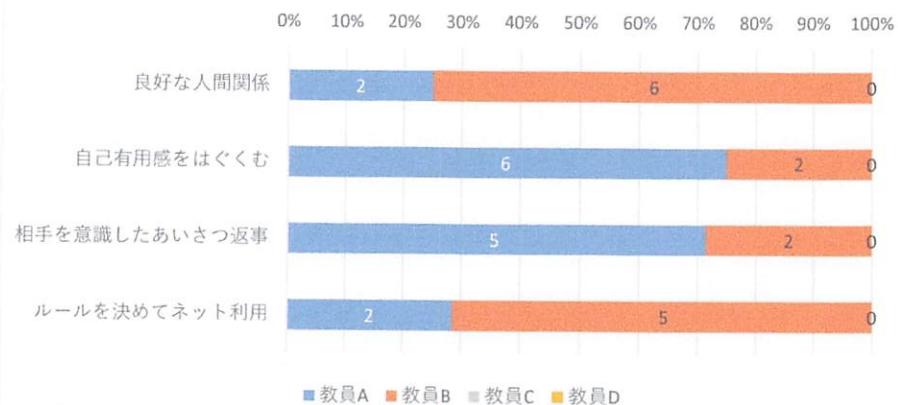
・探究的な授業づくりを行ったことにより、児童は主体的に学ぶことができる。

【課題】

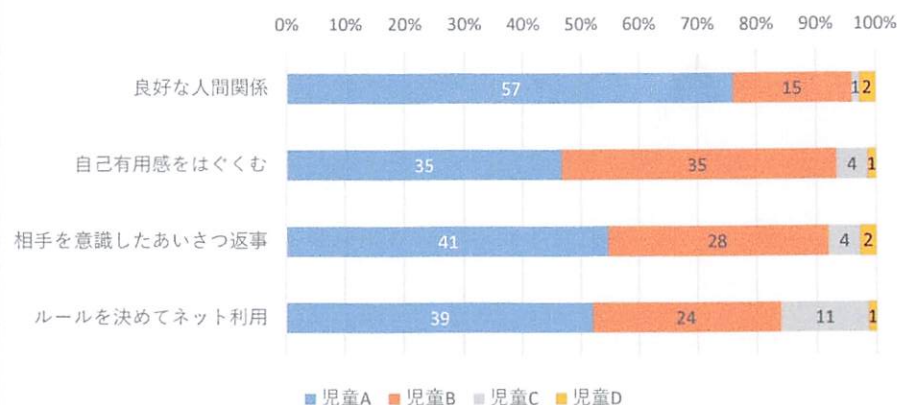
・多様な読書活動（ビブリオバトル、ブックトーク、リレー読書、読書感想文・読書感想画・読書新聞・親子読書・読み聞かせ・おすすめの本の紹介など）に取り組めたという児童が約80%であった。さらにいろいろな読書体験を通して、読書好きの児童を増やしていきたい。

主体的に「ひと・もの・こと」とつながり合う子	教員				児童				保護者			
	A	B	C	D	A	B	C	D	者A	者B	者C	者D
良好な人間関係	2	6	0	0	57	15	1	2	37	37	4	1
自己有用感をはぐくむ	6	2	0	0	35	35	4	1	19	43	17	0
相手を意識したあいさつ返事	5	2	0	0	41	28	4	2	13	38	25	3
ルールを決めてネット利用	2	5	0	0	39	24	11	1	14	33	25	7

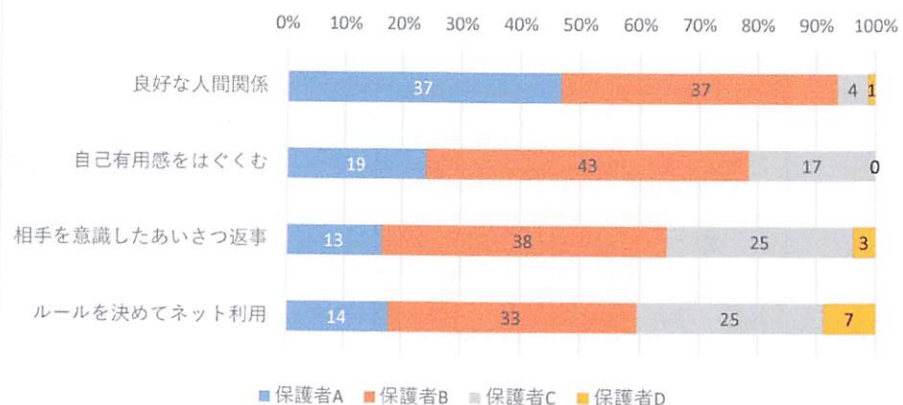
主体的に「ひと・もの・こと」とつながり合う子（教員）



主体的に「ひと・もの・こと」とつながり合う子（児童）



主体的に「ひと・もの・こと」とつながり合う子（保護者）



【成果】

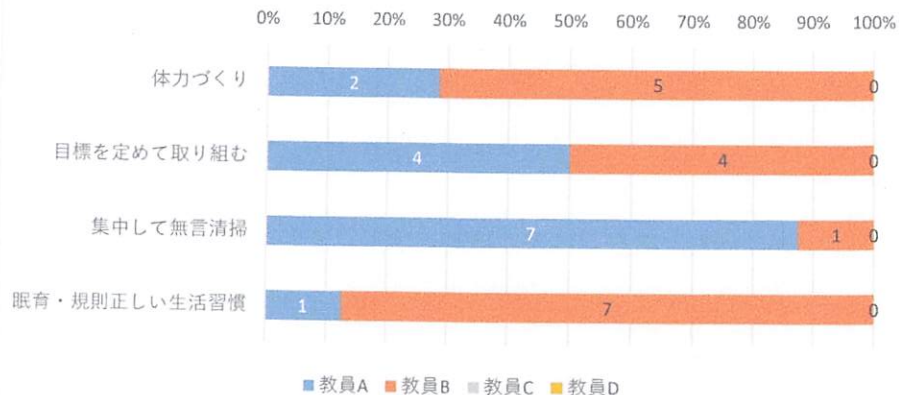
- ・「良好な人間関係を築かせる」ことについての保護者の肯定的評価が90%を超えている。
- ・自己有用感を感じている児童が90%を越えている。

【課題】

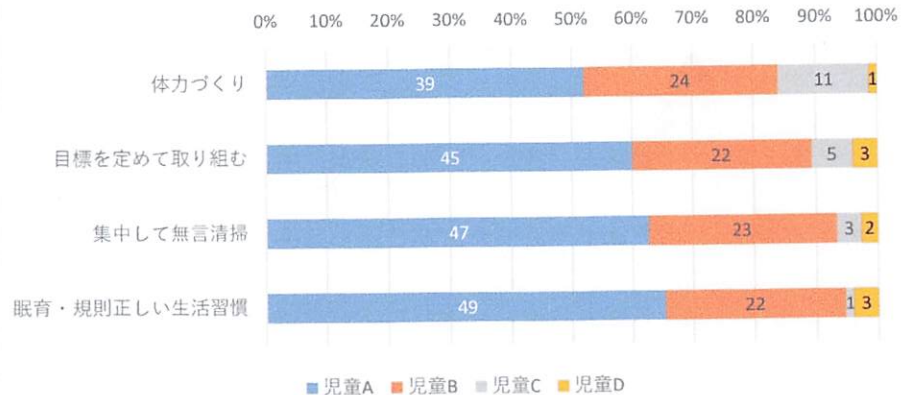
- ・家庭での手伝い等による自己有用感をはぐくむことが十分ではない。家庭への啓発をしていかなければならない。
- ・ルールを決めて適切にネット利用することができていると答えた児童や保護者の割合が低い。情報（ネット）リテラシーについての教育を進めていく必要がある。

一所懸命に、たくましい心と体をつくる子	教員				児童				保護者			
	A	B	C	D	A	B	C	D	者A	者B	者C	者D
体づくり	2	5	0	0	39	24	11	1	37	39	3	0
目標を定めて取り組む	4	4	0	0	45	22	5	3	27	40	12	0
集中して無言清掃	7	1	0	0	47	23	3	2				
眠育・規則正しい生活習慣	1	7	0	0	49	22	1	3	19	33	26	1

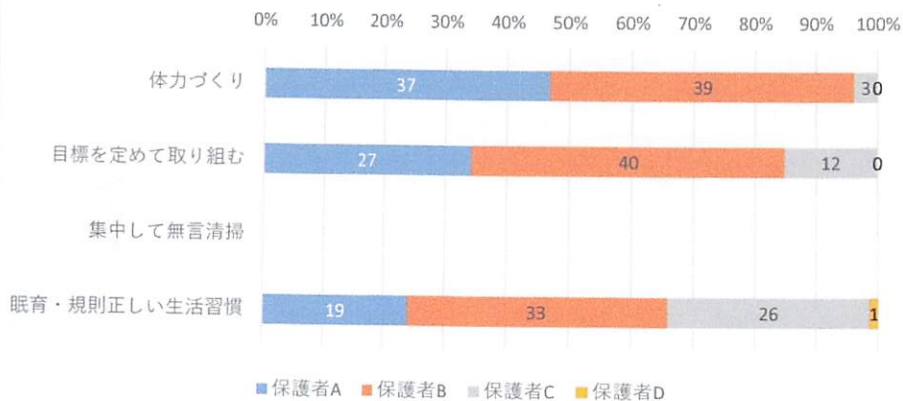
一所懸命に、たくましい心と体をつくる子（教員）



一所懸命に、たくましい心と体をつくる子（児童）



一所懸命に、たくましい心と体をつくる子（保護者）



【成果】

・各行事等で各自の「志」を設定して取り組ませたことで、意欲的に取り組む児童が多かった。

【課題】

・眠育・規則正しい生活習慣については、不十分と答えた保護者が約35%いた。家庭での生活習慣、特に睡眠の大切さについて、児童だけでなく保護者にもさらに啓発していく必要がある。